

土地利用計画

担当教員： 大門 創

履修年次・区分： 2・3年（専門－展開－計画・デザイン）

【二級・木造建築士】選択

授業のテーマ： 都市計画の根幹ともいえる土地利用計画に関わる歴史的発展経緯や計画制度について説明する。また、市場原理に基づく立地論についても触れた上で、土地利用の現代的課題や新たな試み等を通じて、今後の土地利用計画のあり方を考える。

この日の授業内容： 土地利用計画と交通計画の連携



土地利用と交通計画は相互依存の関係にあります。例えば、3500万人が暮らす東京都市圏では、鉄道沿線に人口集中地区が分布し、土地利用と交通が一体的になっています。自動車に依存しない地方都市圏形成の事例として、フランスのアルザス地方にあるストラスブール市の取り組みを見ていきます。

ストラスブールでは、まちなかへのアクセス手段としてトラム（路面電車）を整備し、郊外部にパークアンドライド駐車場、まちなかにFRINGE駐車場を設け、まちなかは徒歩や自転車で回遊しやすい空間構築するというコンセプトを打ち出しました。公共交通を使いやすくするための様々な施策を組み合わせることに大きな意義があり、都市部の自動車を減らすだけでなく、都市部の魅力を大きく向上させることに成功したのです。

(2017年11月取材)